

Annual Report 2023

PHD

事業報告
公益財団法人
PHD協会

2023
2023.4 - 2024.3



研修	P.2-6
居住支援	P.7-8
広報・啓発	P.9-13
組織運営	P.14-15



Annual Report 2023

理事長挨拶

理事長 水野 雄二



いつもPHD協会へのご支援に感謝申し上げます。2023年度はようやくコロナ禍も収束を迎え、PHD協会も活気ある1年を過ごすことができました。インドネシアから、そして久々にミャンマーから、2名の熱意ある研修生を迎え、実りある研修の時を過ごしました。その成果として3月には帰国報告会を行い、さっそく帰国後の新しい歩みが始まっています。また、「みんなのいえ」では当年度も多様な居住困難に直面する在住外国人を支援しました。

2024年度は引き続きミャンマーとインドネシアからの研修生を招聘すると共に、居住支援、多文化共生の働きを進め、私たちにできる「平和への働き」を更に強めていきます。これからの歩みにも更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

事務局報告

主任主事 坂西 卓郎



2023年度はコロナ以降初となるミャンマーからの研修生招聘を4年ぶりに実現することができました。コロナ禍、ミャンマーの国内事情による困難を乗り越えての来日でした。多くの皆様のお支えなしには実現できませんでした。この場をお借りして感謝申し上げます。

国内での居住支援事業では技能実習生の失踪者、カメルーンのシングルマザー、チュニジアからの難民申請者、アフガニスタンからの避難民母子など、多様な方々との出会いがありました。また10月より月1回の食料配布会を開始しました。微力ではありますが、今後も在住外国人のためのセーフティネットとして機能していきたいと思っています。

今後も研修事業を軸としつつ、シェアハウス「みんなのいえ」を通じた居住支援事業を行っていきたく思います。引き続き当会へのご参加、ご支援をどうぞよろしくお願い致します。



第39期研修生

4年ぶりにミャンマーからの研修生招聘が実現できました。アフターコロナの中で、ホストファミリー宅によるホームステイも本格再開し、従来に近いスタイルで研修事業を実施できたこと、受け入れていただいた皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

インドネシアからの研修生アギーさんは、村初の助産師として、村の医療を充実させるために来日しました。その専門性をさらに高めるため、日本では多くの助産院の協力のもと、助産や保健衛生、母子への栄養などを学ぶことができました。

ミャンマーからの研修生チェリーさんは、スラムで児童労働に従事する子どもたちのケアをしています。日本では児童養護施設で困難な状況にある子どもたちのケアや学校で初等教育の指導方法などを学びました。また子どもたちがゴミ拾いなどの仕事ではなく、手に職をつけられるよう手工芸や洋裁についても学びました。

上記の専門研修に加え、共通研修として日本の地域課題や協同組合等について学びました。また多くの人たちとの草の根の交流の中からも貴重な学びを得ることができました。

共通研修

4月～5月

日本語研修（神戸YMCA学院専門学校/兵庫県神戸市）

日本語研修（日本語ボランティア/兵庫県神戸市）

12月

保健衛生研修（三木市総合保健福祉センター/兵庫県三木市）

1月

口腔衛生研修（浜地律地さん/兵庫県神戸市）

2月

口腔衛生研修（浜地律地さん/兵庫県神戸市）

インクルーシブ研修（山梨YMCA/山梨県甲府市）

釜ヶ崎研修（旅路の里/大阪府大阪市）

残留農薬・共生研修（淡路島モンキーセンター/兵庫県洲本市）

協同組合研修（コープこうべ協同学苑/兵庫県三木市）

アクションプラン（行動計画）作成研修（PHD協会/兵庫県神戸市）



来日直後の日本語研修
（神戸YMCA学院専門学校）



口腔衛生研修
（浜地律地さん）



協同組合研修
（コープこうべ協同学苑）



保健衛生研修
（三木市総合保健福祉センター）

失礼ながら研修先の団体様につきまして、敬称を訂正させていただきました。

アギー・ラミダ・プットリさん

出身国：インドネシア
 研修テーマ：助産、保健衛生
 宗教：イスラム教



妊婦さんの子宮をチェックするアギーさん

4月～2024年3月 滞在/葛原時寛さん、香織さん

- 5月
エコー研修（喜多野診療所/奈良県奈良市）
- 6月
訪問看護研修（喜多野診療所/奈良県奈良市）
保育研修（はらっぱ保育所/兵庫県西宮市）
助産研修（奈良県立医科大学/奈良県橿原市）
助産研修（京都府医師会看護専門学校/京都府京都市）

- 7月
助産研修（しずや助産院/福岡県遠賀郡）
助産研修（むすび助産院/京都府向日市）
助産研修（國木助産院/兵庫県神戸市）
- 8月
日本語研修（長崎理恵さん/兵庫県神戸市）
- 9月
助産研修（秋山助産院/兵庫県神戸市）
助産研修（あゆみ助産院/京都府京都市）
助産研修（まある助産院/京都府京都市）
- 10月
助産研修（助産院カンガルーホーム/奈良県生駒郡）
障がい者福祉研修（愛生園/兵庫県神戸市）
- 11月
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）
助産研修（あみ助産院/京都府城陽市）
ベビーマッサージ研修（徳廣マッサージ治療院/京都府京田辺市）
助産研修（芽愛助産院/奈良県天理市）
- 12月
保育研修（シオン保育園/鳥根県隠岐郡）
ハンディキャップケア研修（シオンの園ごさいな/鳥根県隠岐郡）
- 1月
ハンディキャップケア研修（ステップハウス/兵庫県高砂市）
児童福祉研修（アメニティーホームルピナス高砂/兵庫県高砂市）

チェリーさん

出身国：ミャンマー
 研修テーマ：児童養護、保健衛生、教育、識字教育、手工芸
 宗教：仏教



手芸・洋裁研修でワンピースを作ったチェリーさん

4月～2024年3月 滞在/黒野美代子さん

- 6月
保育研修（神戸YWCA保育園/兵庫県神戸市）
保育研修（友愛幼児園/兵庫県神戸市）
口腔研修（浜地律地さん/兵庫県神戸市）
- 7月
児童福祉研修（アメニティーホームルピナス高砂/兵庫県高砂市）
児童福祉研修（まなびと/兵庫県神戸市）
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）

- 8月
保育研修（はらっぱ保育所/兵庫県西宮市）
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）
口腔研修（浜地律地さん/兵庫県神戸市）
日本語研修（国際交流友の会/兵庫県神戸市）
- 9月
児童福祉研修（神戸真生塾/兵庫県神戸市）
障がい者福祉研修（ステップハウス/兵庫県高砂市）
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）
日本語研修（国際交流友の会/兵庫県神戸市）
- 10月
児童福祉研修（神戸真生塾/兵庫県神戸市）
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）
口腔研修（浜地律地さん/兵庫県神戸市）
- 11月
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）
- 12月
学校教育研修（石屋小学校/兵庫県淡路市）
学校教育研修（多賀小学校/兵庫県淡路市）
学校教育研修（阿弥陀小学校/兵庫県高砂市）
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）
- 1月
ハンディキャップケア研修（ステップハウス/兵庫県高砂市）
児童福祉研修（アメニティーホームルピナス高砂/兵庫県高砂市）
手芸・洋裁研修（徳永愛子さん/兵庫県神戸市）

2023年度研修旅行

東日本研修旅行 2023年10月29日～11月1日

東京都/全日本自動車産業労働組合総連合会、日本労働組合総連合会、日本ユニセフ協会、ロータリー米山記念奨学会
 山梨県/山梨YMCA、山梨英和中学校
 岐阜県/中濃教会



全日本自動車産業労働組合総連合会にて



ロータリー米山記念奨学会にて

西日本研修旅行 2024年1月13日～1月21日

鹿児島県/だるま保育園
 熊本県/水俣市立水俣病資料館、水俣病センター相思社、遠藤邦夫さん「地元学」講話、エコネットみなまた、国立療養所菊地恵楓園、一般社団法人きぼう・未来・水俣
 福岡県/祝町小学校、アジアを考える会北九州、世界平和パゴダ、北九州市環境ミュージアム
 山口県/岩国みなみワイズメンズクラブ
 広島県/広島平和記念資料館、原爆ドーム、一泰治さん、平和記念公園
 岡山県/高木唱洋さん



鹿児島県/だるま保育園にて



熊本県/エコネットみなまたにて



福岡県/北九州市環境ミュージアムにて



広島県/原爆ドーム前にて

アクションプラン（活動計画）



個別研修と共通研修を終えた後、39期研修生2名は帰国後を見据えたアクションプラン（活動計画）作りに取り組みました。次の図は研修生の出身地域での課題分析と活動目的との因果関係を視覚化したものです。日本での専門研修と共通研修で得た様々な学びと気づきが盛り込まれており、この計画は研修生自らが村で活動していく上での指針となります。

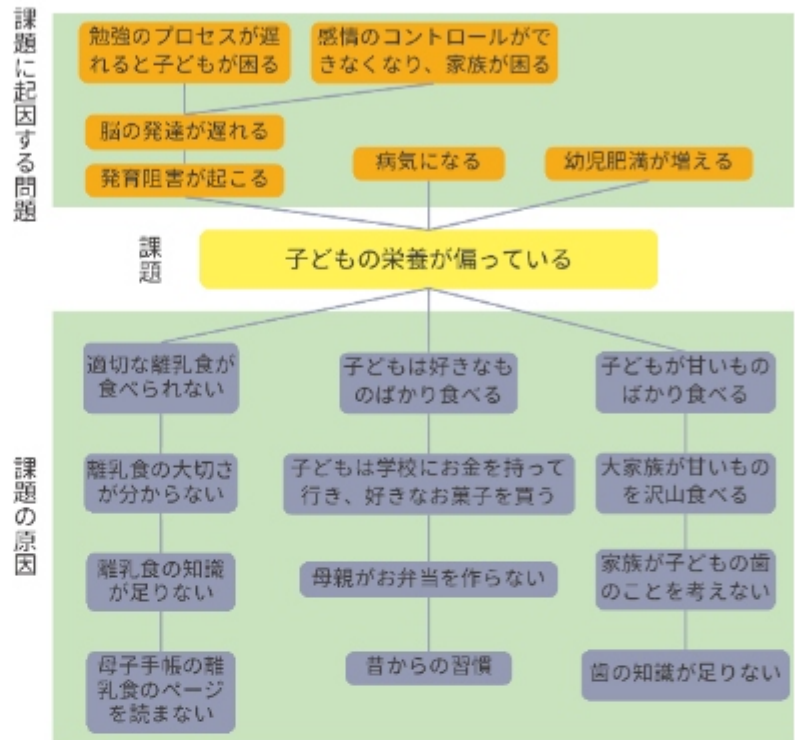
アギーさんの
アクションプラン



村の母子の健康を守りたい

アギーさんはタベ村の助産師として新生児から幼児期の子ども達のケアを担います。村は大家族で甘い物が好きなおえ、お年寄りが孫の面倒を見る家も多く栄養が偏っています。まずは母親の意識を変えることを考え、離乳食の大切さや母子手帳にも着目するような指導をしたいと考えました。幼児期の栄養が偏ることにより起こる病気や発育阻害を防ぐことの大切さを指導していきます。そのために口木の多くの助産院や保健所で子育てや食生活の知識を学びました。いつかアギークリニックを開設し村の母子の周産期から幼児期すべての健康を提供するのがアギーさんの夢です。

タベ村の問題系図



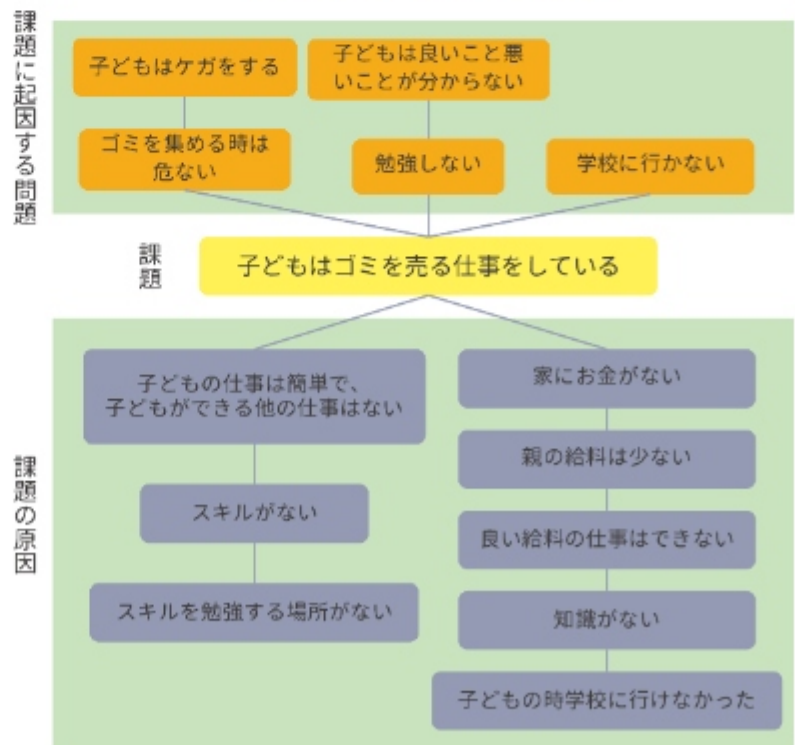
チェリーさんの
アクションプラン



スラムの人々の暮らしを良くしたい

チェリーさんはゴミを売って生計を立てるスラムの子どもやお母さんに手芸を教え、ゴミ売り以外の仕事の選択肢を作ることを目指します。口木では多くの教育施設や児童養護の現場で子どもとの関わり方や学習方法の多様性を学び、分かりやすい指導スキルを身につけました。また、手芸教室では編み物や洋裁の専門性も磨きました。帰国後はすぐにライフスキルや手芸の指導に取りかかり、毎日25人以上がチェリーセンターに集います。チェリーセンターを通して、不安定なミャンマーを生きる人々をエンパワーし、暮らしを支えていくことがチェリーさんの夢です。

活動地域（スラム）の問題系図



選考・フォローアップ・調査

コロナ禍以来、訪問できていなかったインドネシア、ミャンマー、ネパールの3ヶ国にて、帰国した研修生のフォローアップおよび選考を行うことができました。PHD協会のフォローアップでは直接訪問し、出会い、対話することを重視しています。

インドネシアでは、JICA・草の根技術協力事業「小規模農家の生計向上のための牛肥育に関する知識・技術の研修」事業の終了時評価をJICAジャカルタの担当者と協働で実施し、2024年度研修生の選考も行いました。ミャンマーは現地情勢から渡航が心配された中でしたが、4年ぶりとなる元研修生のフォローアップと2024年度研修生の選考を実施することができました。ネパールは、元研修生のフォローアップと新規研修生の調査を行いました。幸い良い出会いに恵まれ、2024年度には選考を実施し、2025年度の招聘を目指しています。

フォローアップについてはPHD letter154、155に出張レポートとして掲載させていただきました。

訪問国	日程
インドネシア	2023/7/4～7/10
ミャンマー	2023/8/20～8/25
ネパール	2023/12/13～12/21



ミャンマーの元研修生と再会



インドネシア・タベ村にて
JICA・草の根技術協力事業の修了証を授与する様子



ミャンマーにて2024年度研修生選考の様子



インドネシア・タベ村にて
元研修生とミーティングする様子



ネパール・ポカラにて第2期研修生のラダさんと再会

第40期研修生の選考と結果

インドネシア、ミャンマーの2ヶ国で第40期研修生の選考を実施しました。2024年度も2名が研修生として来日することになりました。

インドネシア・西スマトラ州ソロ郡

応募者の出身地域	タベ村
選考結果	 チャチャさん (20歳)

ミャンマー・バゴー地方域ナッターリン県テーゴン郡区

応募者の出身地域	イエソーベイン村
選考結果	 ミーミーさん (20歳)



国際協力・交流シェアハウス



国際協力・交流シェアハウス「みんなのいえ」は、困窮外国人の方や難民申請者の方が自立するための準備をする一時的な居住スペースです。

居住者内訳	滞在期間	滞在日数	出身国
	4月4日～5月17日	44日	インドネシア
	4月27日～7月13日	78日	インドネシア
	5月11日～5月16日	6日	インドネシア
	5月11日～5月16日	6日	インドネシア
	5月11日～5月16日	6日	インドネシア
	11月2日～2024年2月26日	117日	インドネシア
	12月11日～12月22日	12日	チュニジア
	12月11日～12月22日	12日	チュニジア
	12月21日～2024年1月15日	26日	ベトナム
	12月21日～2024年1月15日	26日	ベトナム
	2024年2月29日～	31日 (3月31日時点)	ミャンマー
2024年3月28日～	4日 (3月31日時点)	ヨルダン	
合計	368日	12名	

シェアハウス入居者以外の居住支援

みんなのいえ入居者以外への居住支援としては、延べ30件の相談を受け、情報提供や不動産屋の紹介、内見の同行などを行いました。車中生活を2か月間していた特定活動のアフガニスタン人男性に対しては、NGO神戸外国人救援ネットと連携し、同団体のシェルターへの入居を支援しました。

国籍の内訳

ネパール	インドネシア	ベトナム	アフガニスタン	チュニジア	中国	パキスタン	ブータン	合計
14名	6名	3名	2名	2名	1名	1名	1名	30名

在留資格の内訳

留学	特定技能	技術・人文・国際業務	短期滞在	特定活動	家族滞在	不明	合計
15名	5名	4名	2名	2名	1名	1名	30名

相談支援・同行支援、日本語指導

《相談支援》

就労と居住を除く生活に関する相談と同行支援17件を含む延べ200件の対応を実施。具体的な支援内容は、行政手続きや生活保護申請のための同行、幼稚園や保育園への入園支援、病院での診察同行、金銭トラブル対応など多岐にわたりました。

国籍の内訳

ウクライナ	カメルーン	ミャンマー	ネパール	インドネシア	アフガニスタン	バングラデシュ	イエメン	インド	合計
52名	35名	35名	19名	17名	12名	9名	8名	2名	
中国	ベトナム	エジプト	タジキスタン	パキスタン	フィリピン	ヨルダン	ロシア	無国籍	合計
2名	2名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	1名	200名

在留資格の内訳

特定活動	特定技能	家族滞在	技能実習	短期滞在	留学	技術・人文・国際業務	合計
105名	19名	17名	13名	12名	9名	6名	
来日前	仮放免	定住者	日本人の配偶者等	無国籍	永住	不明	合計
6名	5名	2名	2名	2名	1名	1名	200名

《日本語指導》

2023年度は延べ143件の日本語指導を行いました。2021年にアフガニスタンから避難した男性への指導は継続し、8月に来日したその家族に対して初級レベルの指導を梅光学院大学からのインターン生2名と協力し、週3回実施。また、出産を終えた難民申請中のカメルーン人女性に対し、子育てなど生活に必要な日本語を中心に指導しました。さらに、今後日本での滞在が長期化するであろう難民申請中のチュニジア人2名に対し、オンラインでの日本語学習プログラムの登録に同行しました。

国籍の内訳

アフガニスタン	ウクライナ	カメルーン	インドネシア	メキシコ	チュニジア	タジキスタン	合計
64名	35名	22名	17名	3名	2名	1名	143名

在留資格の内訳

特定活動	家族滞在	技術・人文・国際業務	特定技能	短期滞在	合計
57名	43名	21名	20名	2名	143名

食料支援

2023年度はフードバンク関西やコープこうべからの定期的な食料受け取りに加え、当会サポーターからの食品や生活物資の寄贈、赤い羽根共同募金、神戸まちづくり六甲アイランド基金の助成金を活用し、延べ504名の外国人に食料・生活物資支援を行いました。被支援者の必要に応じて、赤い羽根共同募金と神戸まちづくり六甲アイランド基金の助成金を活用し、買い物への同行を伴った購入支援も実施。10月からは毎月1回食料配布会を実施し、長田区近隣の留学生を中心に毎月約50人の外国人に食料や日用品を届けることができました。

国籍の内訳

ミャンマー	ネパール	バングラデシュ	インドネシア	アフガニスタン	カメルーン	ウクライナ	スリランカ	フィリピン	
212名	82名	49名	41名	26名	24名	20名	19名	9名	
タジキスタン	チュニジア	ベトナム	不明	中国	韓国	タイ	パキスタン	ヨルダン	合計
5名	4名	4名	3名	2名	1名	1名	1名	1名	504名

在留資格の内訳

留学	定住者	特定活動	家族滞在	特定技能	技術・人文・国際業務	技能実習
245名	67名	67名	29名	24名	23名	21名
不明	仮放免	永住者	短期滞在	特別永住者	日本人の配偶者等	合計
10名	8名	4名	4名	1名	1名	504名

就労支援

《就労支援》

アルバイト先の紹介や日本語学校卒業後の就職相談、技能実習生の転職先紹介など、延べ42名の外国人に就労支援を実施しました。介護職員初任者研修の資格を持っていたミャンマー人には、サービス付き高齢者向け住宅での仕事を紹介し、当人の強みを生かしたマッチングができました。ウクライナ避難民は就労先とポテトク等の翻訳ツールを通してコミュニケーションを取るケースが多いですが、その際にミスコミュニケーションが起こらないよう、当会のウクライナ人スタッフを通して就労後のフォローアップを行いました。

国籍の内訳

インドネシア	ミャンマー	ウクライナ	カメルーン	ネパール	アフガニスタン	パキスタン	ベトナム	バングラデシュ	フィリピン	合計
12名	8名	6名	4名	4名	2名	2名	2名	1名	1名	42名

在留資格の内訳

特定活動	技術・人文・国際業務	特定技能	留学	家族滞在	合計
25名	6名	5名	4名	2名	42名

《登録支援機関としての就労支援》

2023年度は2名に対して特定技能「介護」での就労支援を行いました。

- ・株式会社メロディ（尼崎市）/インドネシア人男性
- ・社会福祉法人いたみ杉の子（伊丹市）/メキシコ人男性



相談風景



講演・交流会

2023年度も各地で講演・講演会を行い、2,844名の方にご参加いただきました。

<講演・交流会>

神戸親和大学、神戸ポートワイズメンズクラブ被災地支援チャリティーコンサート、コープ魚住、プラスONEネット、神戸市シルバーカレッジ、兵庫県いなみ野学園、第39期研修生来日報告会、少子化日本の未来を考えるシンポジウム2023、甲南女子大学、関西学院大学、和山山高校、神戸学院大学、2023-24年度米山記念奨学セミナー及び交流会、まなびと講演会Daycamp、篠山ロータリークラブ、川西ロータリークラブ、神崎ロータリークラブ、真生塾、加東市連合婦人会、関西学院大学高等部、全日本自動車産業労働組合総連合会、日本労働組合総連合会、ロータリー米山記念奨学会、山梨英和中学校高等学校、山梨YMCA、明石城西高校、兵庫共助会、KSC国際交友会の会、阿弥陀小学校、神戸市居住支援協議会、SDG&フェア、明石清水高校、だるま保育園、祝町小学校、岩国みなみワイズメンズクラブ、第39期研修生帰国報告会

<敬称略>

書き損じハガキ等の収集

2023年度にご寄付いただいた収集物の換金・相当額は50万を超えました。

収集物の相当額・換金額集計 (単位：円)	
書き損じ及び未使用ハガキ	137,165
未使用切手	125,210
外貨コイン・使用済み切手	204,500
未使用テレホンカード	38,500
外貨紙幣	54,713
合計	560,088



ボランティアとの協働

PHD協会の活動に、一年を通じて94名の方々がボランティアとして関わっていただきました。

ボランティア参加者数 (単位：人)	
事務所作業補助	2名
会報発送作業	4名
日本語復習	88名
合計	94名

会員数

会員数は下記の通り、終身維持会員、友の会会員、法人会員を含めて751名となりました。継続したご支援、新たな方からのご支援をいただけるよう、様々な媒体、方法を駆使して広報活動を展開していきます。

	新規会員数 (実績)	2023年度末 の会員数	前年度末 からの増減
終身維持会員	5名	212名	+4名
PHD会員	4名	358名	+1名
友の会会員	2名	137名	+1名
法人会員	0団体	5団体	-1団体
マンスリーサポーター	19名	33名	+16名
合計	30名 0団体	746名 5団体	+22名 -1団体

法人会員の団体様



SOROPTIMIST
Best for Women®
国際ソロプチミスト神戸 様



公益財団法人 神戸YMCA 様



Rotary
高砂ロータリークラブ
高砂ロータリークラブ 様



生活協同組合 コープこうべ 様



村田建設株式会社
村田建設株式会社 様

他団体との協働

他の国際協力・交流団体等との共催行事の実施、運営参加を通して、協働および情報交換を行いました。また、イベント等にも参加し、PHDの活動を幅広く紹介しました。

<共催・参加イベント>

- 4月 多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー運営委員会、NGO-JICA協議会・多文化共生分科会協議、関西NGO協議会お花見、2023学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション、神戸市国際課協議、HYOGON運営委員、HYOMIC幹事会、関西NGO協議会理事選挙管理委員会、公益法人NGO連絡会、神戸NGO協議会例会、Nビボ 第4回経営チーム勉強会「国際協力NGOの成長と停滞要因」
- 5月 関西NGO協議会総会、環境科学研究所訪問、篠山ロータリークラブ60周年記念式典、公益財団法人ひょうごコミュニティ財団真如苑・ひょうご多文化共生基金2023年度（第7期）キックオフ・ネットワークミーティング、コープともしびボランティア振興財団理事会、ワンフェスユース・アドバイザリーグループ会議
- 6月 HYOGON運営委員会、令和5年度外務省主催NGOインターン・プログラム新規採用団体インターン向けオリエンテーション、WAGBEN（和歌山県在住外国人を活用する関係者の勉強会）、NGO-JICA協議会多文化共生部会、コープともしびボランティア振興財団理事会、NGO外務省定期協議会連携推進委員会、国際協力センターJANIC通常総会、HYOGON総会、NGO-JICA協議会NGO会議・年次総会
- 7月 NGO・外務省定期協議会「2023年度第1回連携推進委員会」、第20回多文化共生のための国際理解・開発教育セミナー運営委員会、NGO等提案型プログラム募集要項説明会、RINK例会
- 8月 第20回多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー、NGO-JICA協議会多文化共生部会、「新移民時代型支援ネットワーク構築事業」緊急連続セミナー、令和5年居住支援委員会拡大会議、JICA基金伴走コンサルティング、NGO-外務省定期協議会全体会議、HYOGON運営委員会、外国人防災リーダー養成研修
- 9月 JICA基金事業の伴走コンサルティング、多文化社会専門職機構ガイダンス「今求められる多文化共生コーディネーター」、キップDIYプログラム、国際協力推進セミナー「世界とつながる地方自治体」、NGO-JICA協議会多文化共生部会、三田市国際交流協会在住外国人のための就労支援セミナー、ブックレット「社会福祉×多文化共生ひろがる支え合いの輪」完成報告会、神戸YMCA第40回評議員会、コープこうべフードドライブ讃歌会&交流会、日本財団ウクライナ避難民支援シンポジウム「避難民と共に考える、これからの共生・活躍社会」、HYOMIC幹事会、尼崎北ロータリークラブ60周年記念式典、NGOインターン・プログラム神津研修、加古川ロータリークラブ50周年記念
- 10月 キップDIYプログラム、アユス井上さんとともに考える国際協力NGOの魅力、NGO-JICA協議会多文化共生部会、ワンフェスユース・アドバイザリーグループ定例会、大阪Yメンスクラブ例会、令和5年度多文化共生の担い手連携促進研修会、多文化フェスティバル
- 11月 NI協議会NGO会議正会員の集い、FACH24年記録誌発行記念パーティー、全日本自動車産業労働組合総連合会寄贈式、かめり多文化共生塾、HYOGON運営委員会、NJ勉強会「多文化共生事業におけるNGOとJICAの協働の可能性」、ワンフェスユース・アドバイザリーグループ会議、町田芸術祭、丹波市国際交流協会会議、公益法人連絡会、N連タスクフォース報告及び意見交換会、JICANGO等向け基礎からはじめる国際協力事業研修、HYOMIC幹事会、ひょうごコミュニティ財団10周年記念フォーラム、RSD推進ネットひょうご神戸総会、YMCAセミナー「ミャンマー難民は今」
- 12月 かめり「多文化共生の転換期」、ひょうごコミュニティ財団相談員、ワンフェスユース・アドバイザリーグループ定例会、兵庫県ユニセフ協会評議会、神戸YMCAセミナー「ドイツにおける難民の受け入れ」、阪神自動車専門学校スピーチ大会、HYOMICユースキックオフ、国際ソロプチミストクリスマスコンサート、HYOMICユース会議、Nビボ忘年会
- 1月 カレンニューイヤーパーティー、HYOGON運営委員会、持続可能な地域をつくる成人学習・教育と開発教育：関西会議、HYOMICユース会議、セーフトラベルセミナー、ひょうご国際交流団体連絡協議会10周年記念事業、入管関係調査定例会、社会福祉×多文化共生「実践者から聞く連携体制づくりのためのヒント」、かめり多文化共生塾
- 2月 HYOMICユース会議、ワンワールドフェスティバル、三田市国際交流協会外国人防災リーダー養成講座、ひょうごコミュニティ財団相談員会議、NGO組織強化シンポジウム、PREX×JICA関西シンポジウム、キップDIYプロジェクト成果報告会、丹波移動相談会、2025学年度米山記念奨学生事業説明会、日本YMCA同僚ウクライナ避難民支援プロジェクト、かめり財団多文化共生ネットワーク会議
- 3月 HYOMICユースイベント「共に生きる～身近なことから考える～」、ひょうごコミュニティ財団相談員会議、NGOインターン・プログラム成果報告会、共助社会フォーラム、2023年度第2回NGO-JICA協議会、HYOGON運営委員会、新しい世界を切り拓く若手NGOスタッフのトークイベント「未来への挑戦」、NGO・外務省定期協議会第三回連携推進委員会

<敬称略>

<他団体への運営協力>

- 学校法人大阪YMCA 評議員
- 兵庫県ユニセフ協会 評議員
- 公益財団法人神戸YMCA 評議員・国際委員・大会実行委員
- 公益財団法人コープともしびボランティア振興財団 理事
- 公益財団法人ひょうごコミュニティ財団 ひょうご市民活動応援基金 審査委員長
- 神戸NGO協議会 代表
- 多文化共生のための国際理解教育・開発セミナー 運営委員
- 特定非営利活動法人NGO神戸外国人支援ネット 理事・運営委員
- 西日本地区入国者収容所等視察委員会 視察委員
- 兵庫・国際協力何士の会（HYOMIC） 幹事
- ひょうご市民活動協議会（HYOGON） 代表



2023学年度ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション集合写真

広報物



事業報告2022



会報153号



会報154号



会報155号



with Myanmar 別冊 (7月号)



with Myanmar 別冊 (12月号)



with Myanmar 別冊 (3月号)



「兵庫県さんだ発! 社会福祉×多文化共生 ひろがる共生の輪」ブックレット



会員募集チラシ



研修生チラシ



カレンダー



居住支援チラシ



メディア活動

PHDの活動について幅広く情報発信し、メディアの特性に合わせた広報・啓発活動を展開しました。

SNS

Facebook, Instagram, YouTube, X (旧: Twitter)

新聞

神戸新聞 (8回)、読売新聞 (1回)

他団体会報、マスコミ出演等

目で見えるWHO2023夏号、NGO神戸外国人救援ネット・ニュースNo74、はらっぱ470号、公益財団法人ひょうごコミュニティ財団Newsletter第6号、開発教育vol70、きょうどう2024年2月号、日本クリスチャン・アカデミー機関誌「はなしあい」第633号、甲府21ワイズメンズクラス会報「KOFU21」3月号、神戸市居住支援協議会すまいるネット居住支援YouTube「居住支援法人を知っていますか?~住まいのことで困ったときには~」

<敬称略>

Facebook (いいね)	2,487
Instagram (フォロワー)	1,059
X (フォロワー)	496
YouTube (チャンネル登録者)	79

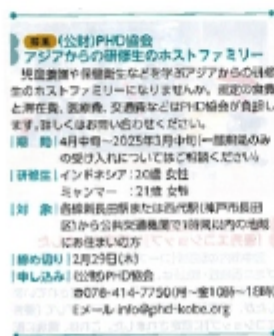
(2024年3月31日現在)



2023年7月11日 Hで見えるWHO2023夏号



2023年7月12日NGO神戸外国人救援ネット・ニュースNo74



2024年2月コープこうべきょうどう



2023年5月2日神戸新聞



2023年5月19日神戸新聞



2023年8月17日神戸新聞



2023年11月28日神戸新聞



2024年2月22日神戸新聞



2024年2月24日神戸新聞



2024年3月16日神戸新聞



神戸市居住支援協議会すまいるネット居住支援YouTube「居住支援法人を知っていますか?~住まいのことで困ったときには~」

2023年度多文化共生インターン

国内における人材育成を目的として、2023年度は多文化共生インターンを3名受け入れました。



イタンダミヨーさん
(専門学生/ミャンマー出身)



活動内容

外国人当事者への相談対応、通訳・翻訳業務、広報・啓発業務



大泉萌恵さん
(大学生)

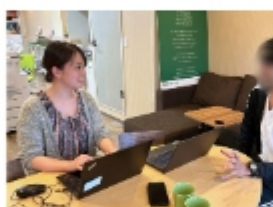


活動内容

居住支援業務、広報・啓発業務



竹添礼菜さん
(大学院生)



活動内容

外国人当事者への相談対応、居住支援業務、広報・啓発業務



当会事務所で開催している食料配布会のスタッフとしても活動地域の外国人や高校生と交流を深めました

JICA NGO等活動支援事業 NGO等提案型プログラム

NGO等提案型プログラム「兵庫発！多文化共生のための市民社会とビジネスセクター連携構築プログラム～外国人労働者とのより良い共生に向けて～」を完了しました（事業期間：2021年7月～2023年8月）。本事業では、外国人を取り巻く課題の改善と多文化共生の推進を目指し、以下3つのプログラムを実施しました。

- ①兵庫県三田市における社会福祉分野と多文化共生分野の連携促進
- ②兵庫県加東市における畑を通じた国際交流・多文化共生の促進
- ③神戸市長田区における「外国人版トライやるウィーク」

また、上記①の取り組みをまとめたブックレット「兵庫県さんだ発！社会福祉×多文化共生ひろがる支え合いの輪」を発行しました（A4判、70頁、フルカラー）。同ブックレットは全国の社会福祉協議会や国際交流協会、NPO/NGOなど233件に配布しました。電子書籍版は当会ホームページから無料でダウンロードできます。（<http://www.phd-kobe.org/tabucolia>）



ブックレット表紙



プログラム実施の様子



ブックレットお披露目会集合写真



2023年度のPHD協会の運営について報告します。

2023年度決算

正味財産増減計算書

自2023年度4月1日・至2024年度3月31日 (単位:円)			
経常収入		経常支出	
科目	決算額	科目	決算額
基本財産運用収入	5,612,300	研修事業費	15,465,435
特定資産運用収入	350,000	啓発事業費	22,293,170
事業収入	10,505,865	管理費	8,572,560
寄付収入	16,990,866		
会費収入	3,134,000		
助成金・補助金収入	4,910,000		
受取利息・配当金	37,506		
災害救援寄付金収入	0		
雑収入	1,366,550		
経常収益計	42,907,087	経常費用計	46,331,165

貸借対照表 2024年3月31日現在 (単位:円)

資産の部		負債・正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	8,651,373	流動負債	2,003,500
固定資産	344,238,406	固定負債	5,025,945
(うち基本財産として 268,102,588)		正味財産	345,860,334
資産合計	352,889,779	負債及び正味財産合計	352,889,779

役員 (2024.6.~)

理事会

理事長 水野 雄二	社会福祉法人 神戸聖隷福祉事業団 理事長
理事 尾上 尚司	公益財団法人 ひょうご子どもと家庭福祉財団 理事長
理事 堀内 正雄	神戸市市長室 国際部長
理事 門野 隆弘	サンテレビジョン 代表取締役社長
理事 小林 拓哉	兵庫県版神南国長センター長
理事 坂西 卓郎	公益財団法人PHD協会 主任理事
理事 滝澤 功治	神戸海商法律事務所 弁護士
理事 丸尾 研一	株式会社エムエスケイ 代表取締役
理事 吉井 久美子	有限会社環境科学研究所 代表取締役
監事 飯田 健一	飯田会計事務所 公認会計士 税理士
監事 冬瀬 佳智子	生活協同組合ロープコラベ 地域活動推進部 広報部長

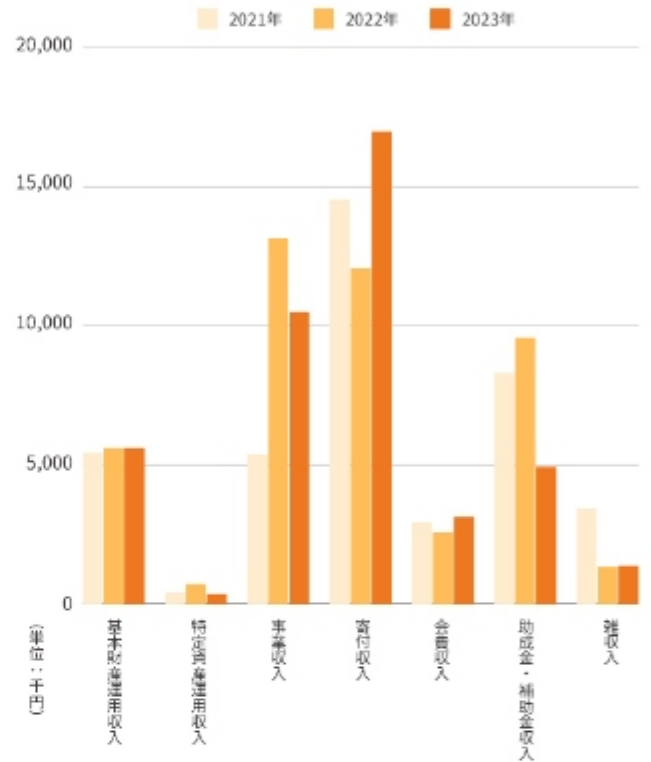
顧問

顧問 安平 和彦	はりま法律事務所 弁護士
顧問 橋本 一豊	株式会社 神戸マツダ 代表取締役会長

評議員会

井上 真二	公益財団法人 神戸YMCA 総理事
岩坂 二規	関西学院大学院教育学研究科 准教授
寒者 恵	元三木市議員 保健師/保健衛生指導者
寺田 正文	てらだ農園/農業指導者
柳堂 邦弘	ミカタスイッチ株式会社 代表取締役/元PHD協会職員
桑 紳一郎	元米山記念奨学委員長
塚本 恵子	社会福祉法人 聖和共働社 理事長
宮田 泰子	公益財団法人 神戸YWCA 理事

過去3年間収入比較



運営協力委員会

青島 一路	兵庫県総合自治会 事務局長
伊勢田 佳博	一般社団法人 兵庫県信用組合協会 常務理事 兼 事務局長
一橋 幸明	兵庫県町村会 事務局長
大家 重明	兵庫県青年福祉大学評議会 会長
大西 巧	一般社団法人 兵庫県信用金庫協会 常務理事
川本 竜司	JOCV(農林)兵庫県OB会 理事
神吉 泰彦	高砂市PHD研修生を創る会
喜多野 章夫	百多野診療所 院長
横谷 義秀	兵庫県小学校長会 会長
小森 準平	株式会社 神戸新報社 報道部長
坂井 敦子	国際ソロプチミスト神戸 会長
有井 晃一	兵庫県中学校長会 会長
堀谷 元宏	兵庫県森林組合連合会 専務理事
沖 良宣	兵庫県中学校長協会 会長
白崎 大介	神戸キワニスクラブ 福祉広報委員長
杉田 健治	社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会 事務局長 (福祉推進担当)
高藤 真理	元大学教員 商科衛生士/歯科衛生士指導者
高松 智美	一般社団法人 兵庫県商利区協会 総務部 総務企画課 課長
郡出 千尋	一般社団法人 兵庫県区協会 事務局長
栗々 淳	兵庫県徳島協同組合連合会 専務理事
谷藤 公代	兵庫県連合婦人会 会長
鍋原 徳男	ミッソナー関西 代表
中井 弘基	一般社団法人 兵庫県私立学校連合会 事務局長
長崎 理恵	インドネシア語訳ボランティア
西村 早百合	Group Taytay
平岡 靖敏	神戸商工会議所 参事役
西 喜樹	一般社団法人 神戸銀行協会 専務理事
松山 聖子	一般社団法人 ガールスカウト兵庫県連盟 書記
本山 秀治	公益財団法人 老人クラブ連合会 専務理事 兼 事務局長
森口 育子	兵庫県立大学 名誉教授
山崎 美和子	一般社団法人 兵庫県美術師会 事務局長

助成金・受託事業

2023年度「愛のキャンパ中央助成」日本労働組合総連合会

人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」のため、NGOなどの事業の支援を目的とする本助成事業より、SDG s 達成のためのPeace研修や育成とシェアハウスを通じた難民・国籍外国人支援事業へのご支援をいただきました。

2023年度「NGOインターン・プログラム」

外務省主催、公益社団法人青年海外協力協会(JOCA)運営の「NGOインターン・プログラム」の受入団体に選定されました。本プログラムは、若手人材の育成を通じてNGOによる国際協力を拡充するための制度です。

中央共同募金会「居場所を失った人への緊急活動応援助成」第8回

赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーンとして公募された本助成を受け、生活に困窮する外国人のための相談支援・同行支援・伴走支援、食料・日用品の自支援、日本語学習支援を実施しました。

神戸まちづくり六甲アイランド基金

神戸市における国際的かつ文化的なコミュニティーづくりに資する活動の支援を目的とする本助成を受け、生活に困窮する外国人のための食料・生活物資支援事業を実施しました。

草の根技術協力事業

国際協力機構(JICA)からの委託事業として、インドネシアを対象に「小規模農家の生活向上のための牛飼育に関する知識・技術の研修」を行いました(事業期間2022年6月~2023年7月)。2023年度は主に現地で牛飼育マニュアルの配布及びフォローアップを実施しました。

NGO等提案型プログラム

国際協力機構(JICA)からの委託事業として、「兵庫発!多文化共生のための市民社会とビジネスセクター連携構築プログラム~外国人労働者とのより良い共生に向けて~」を実施しました(事業期間2021年7月~2023年8月)。2023年度は特に兵庫県三田市での多文化共生と社会福祉分野との連携をまとめたブックレットの発行と配布、半英の終了研修を実施しました。

受賞歴

- 1981 岩村先生、第1回ロータリー国際理解と平和賞受賞
- 1982 神戸新聞平和賞
- 1982 兵庫県社会賞
- 1988 国際交流基金、地域交流振興賞
- 1990 神戸国際交流賞
- 1991 毎日国際交流賞
- 1993 岩村先生、マグサイサイ賞受賞
- 1995 第4回環境水保賞受賞
- 1996 外務大臣賞受賞
- 1997 今井理事長、兵庫県功労者表彰
- 2001 神戸新聞社社会賞
- 2011 井楠文化賞
- 2013 かめり賞
- 2014 神戸キワニスクラブ社会貢献賞
- 2022 第5回はなやかKANSAI魅力アップアワード社会的効果部門特別賞

事務局・スタッフ (2024.4.~)

事務局



坂西 卓郎
事務局長



中村 朱里
総務・ファンドレイジング担当



内堀 友晴
研修担当



三宅 菜依
総務・ファンドレイジング担当



濱 宏子
みんなのいえ運営員



井上 遼香
広報・啓発担当



田村 華奈
研修支援担当

ミャンマー現地スタッフ



モーママ
2013年度第31期生



サンティダエー
2015年度第33期生



ティダチョー(マーチョ)
2016年度第34期生

ネパール現地スタッフ



ランマヤ・タマン
2012年度第30期生



スシラ・バセル・サルキ
2019年度第37期生

インドネシア現地スタッフ



ダスウィル
1989年度第17期生



アルウィ ファドリ
2001年度第19期生



ダルミアティス (ミミ)
2002年度第20期生



アフリタ
2004年度第22期生



マスラル アリソン
2005年度第23期生



ダリスマン
2013年度第31期生



〒653-0836
神戸市長田区
神楽町3丁目7-4
TEL: 078-414-7750
FAX: 078-414-7511



PHD 協会の各種 SNS はこちらからご覧ください。

HP: <http://www.phd-kobe.org>

